

副作用の重症度分類(CTCAE v5.0を参考に作成)

| 有害事象 | グレード1 (軽症) | グレード2 (中等症) | グレード3 (重症) | グレード4 (生命を脅かす) |
|---------------------------------|---|---|--|--------------------------------|
| 白血球減少 | 3.3-3.0×10 ³ /μ L | 3.0-2.0×10 ³ /μ L | 2.0-1.0×10 ³ /μ L | <1.0×10 ³ /μ L |
| 好中球減少 | 2.0-1.5×10 ³ /μ L | 1.5-1.0×10 ³ /μ L | 1.0-0.5×10 ³ /μ L | <0.5×10 ³ /μ L |
| 貧血 | 男性:13.7-10.0g/dL 女性:11.6-10.0g/dL | 10.0-8.0g/dL | <8.0g/dL | 緊急処置を要する |
| 血小板減少 | 158-75×10 ⁴ /μ L | 75-50×10 ⁴ /μ L | 50-25×10 ⁴ /μ L | <25×10 ⁴ /μ L |
| AST増加 | 30-90U/L | 90-150U/L | 150-600U/L | 600U/L< |
| ALT増加 | 男性:42-126U/L 女性:23-69U/L | 男性:126-210U/L 女性:69-115U/L | 男性:210-840U/L 女性:115-460U/L | 男性:840U/L< 女性:460U/L< |
| T-bil増加 | 1.5-2.25mg/dL | 2.25-4.5mg/dL | 4.5-15mg/dL | 15mg/dL< |
| クレアチニン増加 | 男性:1.07-1.605mg/dL 女性:0.79-1.185mg/dL | 男性:1.605-3.21mg/dL 女性:1.185-2.37mg/dL | 男性:3.21-6.42mg/dL 女性:2.37-4.74mg/dL | 男性:6.42mg/dL< 女性:4.74mg/dL< |
| 高カリウム血症 | 4.8-5.5mM/L | 5.5-6.0mM/L | 6.0-7.0mM/L | 7.0mM/L< |
| 低カリウム血症 | 3.6-3.0mM/L (症状がない) | 3.6-3.0mM/L (脱力、筋力低下、不整脈 等の症状がある) | 3.0-2.5mM/L | <2.5mM/L |
| 高カルシウム血症 (補正值 [※]) | 10.1-11.5mg/dL | 11.5-12.5mg/dL | 12.5-13.5mg/dL | 13.5mg/dL< |
| 低カルシウム血症 (補正值 [※]) | 8.8-8.0mg/dL | 8.0-7.0mg/dL | 7.0-6.0mg/dL | <6.0mg/dL |
| 高血圧 | 収縮期血圧120-139mmHg または 拡張期血圧80-89mmHg | 収縮期血圧140-159mmHg または 拡張期血圧90-99mmHg | 収縮期血圧160mmHg< または 拡張期血圧100mmHg< | 緊急処置を要する |
| 蛋白尿 | 蛋白尿 1+ | 蛋白尿 2+~3+ | 蛋白尿 4+ | — |
| | | | | |
| | | | | |

※血清アルブミン値が4未満の場合は以下の補正式で補正を行う。

補正カルシウム値(mg/dL)=血清カルシウム値(mg/dL)+4-血清アルブミン値(g/dL)

副作用の重症度分類(CTCAE v5.0を参考に作成)

| 有害事象 | グレード1 (軽症) | グレード2 (中等症) | グレード3 (重症) |
|-------------------|------------------------------------|---|---|
| 悪心(吐き気) | 吐き気はあるが、食生活に影響はない | 吐き気があり、体重減少、脱水、栄養失調を伴わない食事量の低下がある | 吐き気があり、食事や水分がほとんど摂れない |
| 嘔吐 | 症状は軽く、経過観察が可能 | 外来での点滴治療や内服治療が必要 | 入院での点滴治療が必要 |
| 食欲不振 | 食欲低下はあるが、食生活に影響はない | 体重減少、脱水、栄養失調を伴わない食事量の低下がある | 体重減少、栄養失調がある(食事や水分がほとんど摂れない) |
| 口腔粘膜炎(口内炎) | 症状は軽く、経過観察が可能 | 痛みや潰瘍がある 経口摂取は可能 食事の変更が必要 | 強い痛みがある 経口摂取ができない |
| 味覚異常 | 味覚の変化はあるが、食生活に影響はない | 味覚の変化があり、食生活の変更が必要 不快な味、味の消失 | — |
| 便秘 | 不定期、間欠的な症状 下剤や食事の工夫が必要 | 下剤の定期的な使用が必要 持続的な症状 | 下剤を使用しても症状が継続する |
| 下痢 | 普段と比べて排便回数が+3回以内の増加 | 普段と比べて排便回数が+4~6回の増加 | 普段と比べて排便回数が+7回以上の増加 |
| 倦怠感 | 軽いだるさがある | 中程度のだるさがある 日常生活への影響は少ない | 強いだるさがある 日常生活への影響がある |
| 末梢性感覚ニューロパチー(しびれ) | 症状は軽く、経過観察が可能 違和感がある | 中程度の症状がある 日常生活への影響は少ない | 強い症状がある 日常生活への影響がある |
| 手足症候群 | 痛みのない軽微な皮膚の変化 皮膚の腫れ、赤み | 痛みのある皮膚の変化 皮膚の腫れ、水疱、出血、亀裂 | 強い痛みのある皮膚の変化 皮膚のはがれ、潰瘍、水疱 |
| ざ瘡様皮疹 | 体表面積の<10%を占める赤み、膿 痒み、痛みの有無は問わない | 体表面積の10%~30%を占める赤み、膿 社会心理学的な影響を伴う 体表面積の>30%を占める赤み、膿で軽度の 症状の有無は問わない | 体表面積の>30%を占める赤み、膿 で中等度または高度の症状を伴う 経口抗菌薬による治療が必要 |
| 皮膚乾燥 | 体表面積の<10%を占め、赤みや痒みはない | 体表面積の10%~30%を占め、赤みまたは痒みがある | 体表面積の>30%を占め、痒みがある |
| 爪囲炎 | 爪の腫れ、赤み、はがれ | 痛みをを伴う爪の腫れ、赤み 滲出液や爪の割れ 内服薬による治療が必要 | 日常生活への影響がある 外科的処置が必要 抗菌薬の静脈投与が必要 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |